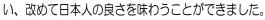




6月7日(水)3年生が、和装教育国民推進会議の皆様のご支援により、浴衣着付け体験に臨みました。

日本の着物文化は、子や孫までもが着ることが出来るようにと、大事に受け継がれてきました。浴衣は、着られなくなったら、手ぬぐいやおしめ、最後は雑巾として活用してきたそうです。SDGSが色々な所で取り上げられていますが、「使う責任」という点で考えれば、日本人は言われなくとも昔から実践していたのですね。浴衣の素材や歴史を始め、日本人と浴衣についてお話しをうかが











6月8日に運動会集会が開かれ、赤軍・白軍のチーム分けが行われました。運動会は7月8日(土) ですが、既に熱気にあふれています。3年生は3分間の応援合戦に向け、毎朝作戦タイムが開かれ

ています。時間を有効に活用した取り組みは見事です。1・2年生の協力の下、ワクワクする運動会になりそうです!

















MOSTESTATE CTSU SUNCOSTILET





前略

立川中学校の生徒の皆さん、いつも『志高く 未来 を切り拓く』立川中学校通信**風立ちぬ**を読ませていた だいています。

立川中学校の皆さんの学校で日頃勉学に励んでおられることが知ることができ、町民として本当に素晴らしく・嬉しく・感動しております。

5月26日発行の第3号には、『雪道で動けなくなった老婆を看護した』という記事が載っていました。

3年生の太田百々花さんという女生徒が真冬であるにもかかわらず、自分のマフラーで教急車が来るまで、看護してくれたとは、なんと素晴らしく、優しいことでしょう。この記事を読んで涙がでて止まりませんでした。

当然ながら青少年町民会議から表彰されたとのこと。おめでとうございます。(*^o^*)

誰もが、何処でも出逢う出来事ですが、その優しい 気遣いができないのが一般的です。

太田百々花さん、優しいその心はすばらしい!!きっと人生の素敵な一頁になることでしょう。

学問のみならず、心の指導をされておられる立川中学校の校長先生はじめ、教師の皆様に一町民として感謝を申し上げます。厳しい勤務の毎日本当にご苦労様です。これからも子供達をよろしく(___)

庄内町清川 後期高齢者の爺より



西浦にお住まいの阿部金三さまより、鮮やかに咲き誇ったベニバナを頂きました。また、地域の方からお手紙を頂きました。いつも生徒を応援してくださり、ありがとうございます。人が育つ上で大事なのが環境で、どのような家庭、どのような地域で育ったか、どのような人と出会ったかがその人の価値観形成に大きく影響すると考えています。立川地域の生徒達は、相手の立場で物事を考えることのできる、思いやりのある生徒が多いです。家庭・地域・接する人々の温かさに触れ育ったおかげと感じます。今後とも「地域の宝物」である生徒達への温かな視線、励ましと、ご支援を頂ければと思います。よろしく御願い申し上げます。

昨年度は、学習のまとまりである「単元」が終わる毎に、各教科それぞれに「単元テスト」を行い、学びの成果を確認していました。しかし、「テストに、みんなで 真剣に向き合う環境を創り上げたい」との声が聞かれ、学期の中でのメリハリを意

識し、計画をたて、じっくり時間をかけ課題と向き合い、学びを深めていこう!となりました。部・クラブ活動もテスト3日前から最終日前日まで活動停止とさせていただき、テストに向かって集中します。(「単元テスト」は、単元毎の学びを確認する機会として、各教科で活用して参ります。) 今年度1学期期末テストは、6月23日(金)と26日(月)の2日間です。部・クラブは、20日から26日まで停止となります。

https://www.town.shonai.lg.jp/tachichu/

